

第64回研究大会プログラム

会場 埼玉大学

日時 2017年9月15日(金)～17日(日)

9月	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
15日 金					受付	プロジェクト研究 (13:00～16:00) 「地域づくりと社会教育」 「学習の自由」と社会教育		特別企画 (16:15～18:15)		全国理事会 (18:30～21:00)	
			若手研究者のつどい (18:30～)								
16日 土		受付	自由研究発表 (10:00～12:00)	昼食	自由研究発表 (13:00～15:00)		研究倫理 (15:15～16:45)		総会 (17:00～18:30)	懇親会 (18:45～20:45)	
17日 日	受付	会場校企画 (9:30～12:00)			昼食	ラウンドテーブル (13:00～15:30)					

《御案内》

- (1) 受付案内 ①会場案内は表紙裏、教室案内はP. 1をご参照下さい。 *敷地内禁煙です
②受付設置場所・時間はつぎのとおりです。
1日目：12:30～ 埼玉大学 全学講義棟1号館1階
2日目：9:30～ //
- (2) 参加費等 ①参加費 一般・大学院生：2,500円、学部生：1,000円
(但し会員の大学院生は身分証提示で1,500円)
②懇親会費 一般：4,500円、院生・学部生：2,000円
③昼食 15日(金)は生協食堂が利用できます。
16日(土)17日(日)構内コンビニのみ営業
2日目・3日目はお弁当(飲物付)予約券(600円)を購入可。
※お弁当は、会場での当日販売はありません。

*** 研究大会／懇親会への参加・弁当は事前申込＆支払いは同封の振替票で事前振込。**

尚、準備の都合上、事前申込後のキャンセルはご遠慮ください。

- (3) 会場案内 ①大会本部 全学講義棟1号館2階1-201講義室(3日目のみ1-207講義室)
②参加者控室 //
- (4) 発表者は、当日配布資料がある場合、会場でのコピーは出来ませんので、事前に十分な部数(約50部)をご用意下さい。
- (5) 大会についてのお問い合わせやご連絡は下記をお願いします。

埼玉大学研究大会開催校事務局：saidai.office@gmail.com

〒338-8570 埼玉県さいたま市桜区下大久保255

埼玉大学教育学部 安藤聡彦研究室気付

日本社会教育学会 <http://www.jssace.jp> E-Mail：jssace.office@gmail.com

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8 東京農工大学農学部環境教育学研究室内

会場へのアクセス

※埼玉大学へは北浦和駅（JR京浜東北線）と南与野駅（JR埼京線）からのバスをご利用下さい。

電車でのアクセス

東京駅	北浦和駅	39分
大宮駅	(JR京浜東北線・快速)	7分
新宿駅	南与野駅	34分
大宮駅	(JR埼京線・普通)	7分

※南与野駅に快速・通勤快速は停車いたしません。

道路混雑により、バスが遅れる場合が予想されます。

特に朝夕や雨天時は、
下記到着予定時間（目安）の倍ほどのお時間を
想定ください。

【会場】
全学講義棟
1号館



バスでのアクセス

北浦和駅 西口	「埼玉大学」 行き（終点）	約20分 200円
南与野駅 北入口	「埼玉大学」 行き（終点）	約15分 180円
南与野駅 西口	全便が埼玉大学 を經由	約15分 180円

※南与野駅・北入口バス停は、北浦和駅発のバスに途中乗車しますので、満員で乗車できないこともあります。

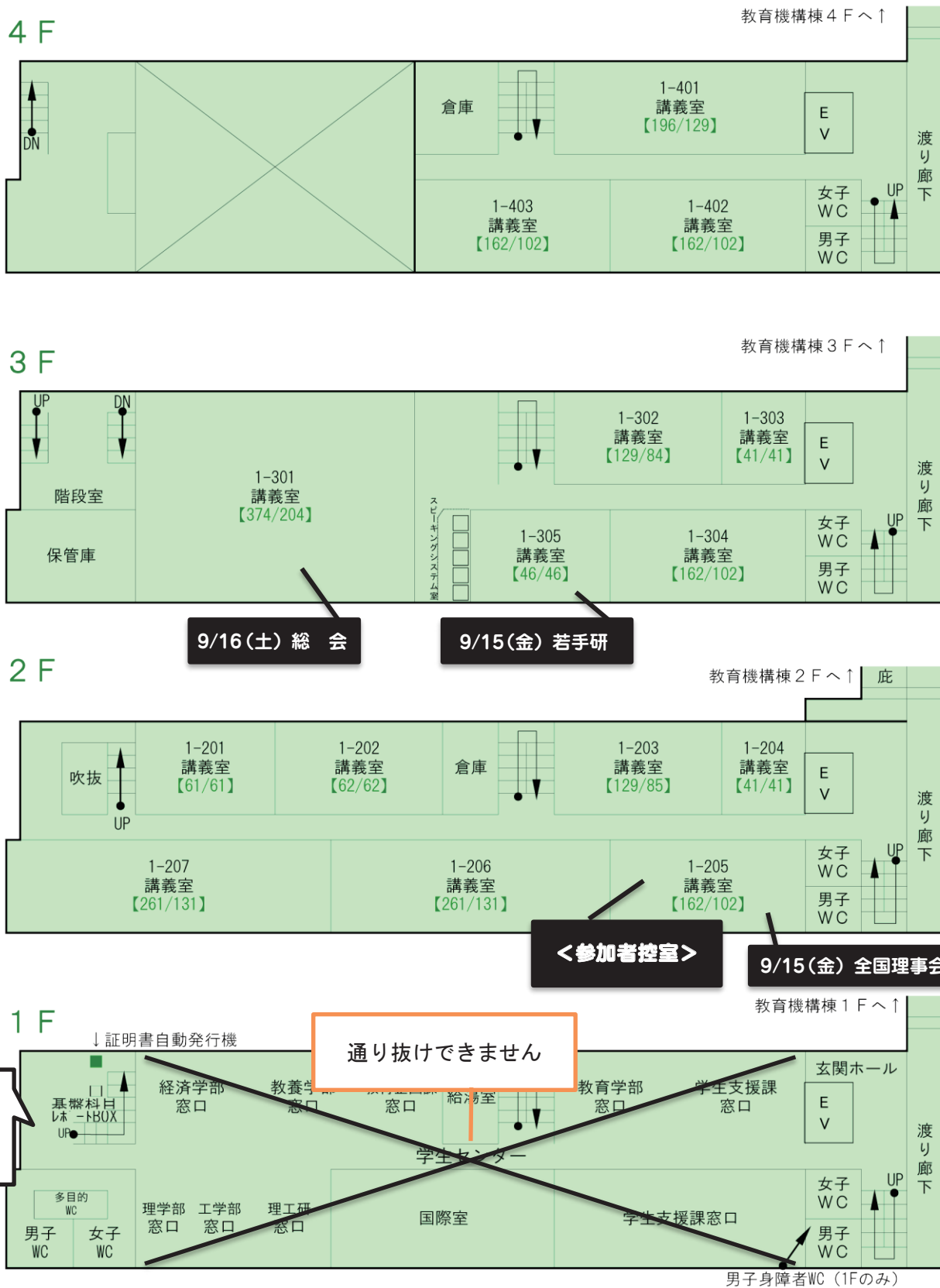
※埼玉大学からの各駅行きのバス停は1つです。大学正門（国道463号線）を正面にして、ロータリーの左手にあります。

※本校の駐車スペースは非常に限られていますので、自家用車でのご来校はご遠慮ください。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

教室案内図

全学講義棟 1 号館 (メイン会場)



9月15日（金） 受付 全学講義棟1号館1階

プロジェクト研究<第1室>	〃	2階1－206講義室
プロジェクト研究<第2室>	〃	2階1－207講義室
特別企画	〃	3階1－301講義室

9月16日（土） 受付 全学講義棟1号館1階

自由研究発表 第1室	〃	2階1－207講義室
自由研究発表 第2室	〃	2階1－202講義室
自由研究発表 第3室	〃	2階1－203講義室
自由研究発表 第4室	〃	2階1－204講義室
自由研究発表 第5室	〃	3階1－305講義室
自由研究発表 第6室	〃	3階1－304講義室
自由研究発表 第7室	〃	3階1－302講義室
自由研究発表 第8室	〃	3階1－303講義室
自由研究発表 第9室	〃	2階1－202講義室
自由研究発表 第10室	〃	4階1－401講義室
自由研究発表 第11室	〃	4階1－402講義室
自由研究発表 第12室	〃	4階1－403講義室
研究倫理	〃	2階1－206講義室
総 会	〃	3階1－301講義室
懇親会		埼玉大学生生活協同組合第二食堂1階

9月17日（日） 受付 全学講義棟1号館1階

会場校企画	〃	3階1－301講義室
ラウンドテーブル①	〃	2階1－202講義室
ラウンドテーブル②	〃	2階1－203講義室
ラウンドテーブル③	〃	2階1－204講義室
ラウンドテーブル④	〃	3階1－302講義室
ラウンドテーブル⑤	〃	2階1－201講義室
ラウンドテーブル⑥	〃	3階1－303講義室
ラウンドテーブル⑦	〃	3階1－304講義室
ラウンドテーブル⑧	〃	3階1－305講義室
ラウンドテーブル⑨	〃	4階1－401講義室
ラウンドテーブル⑩	〃	4階1－402講義室
ラウンドテーブル⑪	〃	4階1－403講義室

プロジェクト研究

「地域づくりと社会教育」

13:00～16:00 全学講義棟1号館2階1-206講義室

- テーマ 「地域づくりへの社会教育的アプローチ—周辺化された人びと・地域と社会教育—」
司会 宮崎 隆志（北海道大学）、槇石 多希子（仙台白百合女子大学）
報告① 「社会教育と周縁—北部九州地方の産業再編と地域づくり—」
農中 至（鹿児島大学）
② 「地対財特法期限後の都市部落と「周縁化に抗する」取り組み—教育・福祉とまちづくり」
阿久澤 麻里子（大阪市立大学）
コメンテーター 上杉 孝實（京都大学名誉教授）、安藤 耕己（山形大学）

プロジェクト研究

「『学習の自由』と社会教育」

13:00～16:00 全学講義棟1号館2階1-207講義室

- テーマ 「社会教育の自由と公共性—学習権保障の視点から」
司会 佐藤 一子（東京大学名誉教授）、手打 明敏（筑波大学名誉教授）
報告① 「学習権保証における政治的中立性をめぐる課題」
荒井 文昭（首都大学東京）
② 「社会教育における学習の自由と公共性」
姉崎 洋一（北海道大学名誉教授）
③ 「公民館の公共性と学習の自由をめぐる現場の課題」
牛越邦夫（池田町「町民と政党のつどい」実行委員会）、金田光正（元
富士見市公民館長）

特別企画

「社会教育主事講習の見直し（その4）」

16:15～18:15 全学講義棟1号館3階1-301講義室

- テーマ 「社会教育職員の現職研修の在り方を考える」
司会 内田 和浩（北海学園大学）
報告① 「社会教育主事を取り巻く現状と課題」
—全国社会教育主事の会における研究協議資料の分析を通じて—
梶野 光信（東京都教育庁）
② 「社会教育職員の現職研修を構想するための視点」
内田 光俊（岡山市教育委員会）

全国理事会

18:30～ 全学講義棟1号館2階1-205講義室

若手研究者のつどい

18:30～ 全学講義棟1号館3階1-305講義室

自由研究発表 (共同研究者は○印が登壇者)

10:00～15:00 全学講義棟1号館

第1室 午前

原理論・歴史

2階 1-207 講義室

司会 相庭 和彦 (新潟大学)

10:00～10:25 グラムシの教育思想

—『工場評議会』を中心にして

黒沢 惟昭 (中国・東北師範大学)

10:25～10:50 「翻訳的社会教育論」の再検討

—明治後期の著作を中心に

倉知 典弘 (吉備国際大学)

10:50～11:15 上原専祿「主体性形成と学習」論研究 (その12)

—地域学習論における固有の発想—

片岡 弘勝 (奈良教育大学)

11:15～11:40 海後宗臣の社会教育論

—〈民衆教育へ〉の展望

越川 求 (千葉県立保健医療大学)

(討議 11:40～12:00)

第1室 午後

原理論・歴史

2階 1-207 講義室

司会 宮崎 隆志 (北海道大学)

13:00～13:50 自己教育における時・空間の統合の研究

—フィールド研究とライフヒストリーを結ぶもの(2)

○前平 泰志 (畿央大学)、生駒 佳也 (徳島市立高校)、

○岡田 光恵 (桃山学院大学・非常勤)、辻 喜代司 (京都大学)、○猿山 隆子 (京都造形芸術大学・非常勤)、

○鏑 純香 (相愛大学・非常勤)、飯田 優美 (京都女子大学・非常勤)

13:50～14:15 応答の教育としての伝承の子育て

岡 幸江 (九州大学)

14:15～14:40 変容的学習における「対話」概念の変遷：学習手法と研究方法論に着目して

正木 遥香 (広島大学大学院)

(討議 14:40～15:00)

司 会 野 依 智 子（福岡女子大学）

10:00～10:25 大阪労働学校における労働者の学習活動
奥村 旅人（京都大学大学院）

10:25～10:50 選挙粛正運動と政治教育
上原 直人（名古屋工業大学）

10:50～11:15 戦後期関西における労働科学の形成と展開 その1
吉岡 いずみ（京都橘大学・非常勤）

11:15～11:40 デンマークにおける国民高等学校と身体の規律化
—グロントヴィ主義と国民的身体—
田淵 宗孝（名古屋大学）

（討議 11:40～12:00）

司 会 辻 智 子（北海道大学）

13:00～13:25 戦後地方文化運動の実証的研究(その2)
—「ふだん記」みちのくループを対象として—
川原 健太郎（早稲田大学）

13:25～13:50 1950年代～60年代、長野県下伊那地方における「学校と家庭の連絡」の模索
山梨 あや（慶應義塾大学）

13:50～14:15 祖国復帰運動と戦後奄美諸島社会教育・青年団との関係
—島嶼間の差異に注目して—
農中 至（鹿児島大学）

14:15～14:40 南島村内法罰札制度にみる習俗の教育
井谷 泰彦（国土館大学・非常勤）

（討議 14:40～15:00）

司 会 若 原 幸 範（稚内北星学園大学）

10:00～10:40 戦後地域社会教育と農業改良普及事業との協働に関する研究(2)

—主に1970年代までの岩手県における生活改良普及事業の実態解明から—

○安藤 耕己（山形大学）、藤田 美佳（奈良教育大学）、
松本 大（弘前大学）、○竹淵 真由（下諏訪町教育
委員会）

10:40～11:05 農山村における共生価値と学びの可能性

高橋 英子（東北大学大学院）

11:05～11:30 ファームビューローと成人教育

佐々木 保孝（天理大学）

（討議 11:30～11:50）

司 会 堀 本 麻由子（東海大学）

13:00～13:25 社会教育におけるICTの可能性

—国立女性教育会館の試行eラーニングからの考察—

佐野 敦子（国立女性教育会館）

13:25～13:50 女性の起業と学習のプロセス

—事例をもとにしたエンパワーメントと環境要因に関する考察

飯島 絵理（東北大学大学院）

13:50～14:15 新卒助産師の学習機会検討のための基礎調査

福島 恭子（静岡県立大学）

14:15～14:40 社会的企業の人材育成に関する考察

—社会起業家型リーダーの育成に着目して

張 苑菁（名古屋大学大学院）

（討議 14:40～15:00）

第4室 午前

学習主体

2階 1-204講義室

- 司 会 辻 浩（日本社会事業大学）
- 10:00～10:25 第二次世界大戦後の松浦浅吉による教育福祉実践と理念
—愛知県「犬山としより学校」設立と沖縄県「小桜の塔」建立運動を中心として—
久保田 治助（鹿児島大学）
- 10:25～10:50 高齢者の健康づくり活動における介護予防運動の自主グループへの参加を通じた意識・行動の変革プロセス
—修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ (M-GTA) による分析を通して—
崔 敏奎（東北大学大学院）
- 10:50～11:15 地域における高齢者の諸活動が健康寿命に与える関係性
川又 由妃（北翔大学大学院）
- 11:15～11:40 高齢者学習支援に関する日韓比較研究：70代以上の学習をみすえて
堀 薫夫（大阪教育大学）

（討議 11:40～12:00）

第4室 午後

学習主体／子育て

2階 1-204講義室

- 司 会 野 田 恵（東京農工大学・非常勤）
- 13:00～13:25 育児期の女性の学習課題と機会をめぐる一考察
丸山 美貴子（北海道大学）
- 13:25～13:50 地域子育て支援拠点における事業の展開過程とスタッフの力量形成
榊 ひとみ（函館短期大学）
- 13:50～14:15 父親の子育てネットワーク活動の成立条件と類型化
—家庭教育を支える学習組織としての役割に注目して—
吉岡 亜希子（北海学園大学・非常勤）
- 14:15～14:40 韓国の働く母親への子育て支援政策の変遷に関する研究
松尾 有美（東京大学大学院）

（討議 14:40～15:00）

司 会 鈴 木 敏 正（北海道文教大学）

10:00～10:25 青年期教育におけるサークル活動の意義

木下 卓弥（北海道大学大学院）

10:25～10:50 ユースワークの価値を考える

—「若者調査」の分析から—

水野 篤夫（公益財団法人京都市ユースサービス協会）

10:50～11:15 EUの障害のある若者支援における生涯学習の機能

—アクティブ・インクルージョンに着目して

池田 法子（京都大学大学院）

11:15～11:40 英国における親集団の学習活動の成立史

—障害者運動との関係から—

橋田 慈子（筑波大学大学院）

（討議 11:40～12:00）

司 会 大 坂 祐 二（名寄市立大学）

13:00～13:25 南九州の民俗文化特性と青年の学びに関する検討

—戦後青年教育研究の蓄積を踏まえて—

池水 聖子（（一財）鹿児島県青年会館）

13:25～13:50 地方の若者の地域移動と地元志向

廣森 直子（青森県立保健大学）

13:50～14:15 青年のキャリア形成をめぐる研究枠組みの再検討

丹田 桂太（東京大学大学院）

（討議 14:15～14:35）

司会 野元弘幸（首都大学東京）

10:00～10:25 フレイレアン・アプローチによる被災地エンパワメント実践の方法と課題
松岡 廣路（神戸大学）

10:25～10:50 学校との連携による地域防災活動を通じた住民の学習
生島 美和（弘前学院大学）

10:50～11:15 地域づくりの新たな担い手の創出と学習に関する一考察
—岩手県気仙郡住田町に着目して—
小宅 優美（筑波大学大学院）

11:15～11:40 災害復興におけるレジリエンスのための教育に関する研究（2）
—茨城県常総市の取り組みを事例に—
秦 範子（都留文科大学・非常勤）

（討議 11:40～12:00）

司会 村田和子（和歌山大学）

13:00～13:25 大学生涯学習系センターの意義と役割に関する一考察
—和歌山大学での再編プロセスを踏まえて—
西川 一弘（和歌山大学）

13:25～13:50 地域再生に向けての大学の役割
—「いわてアグリフロンティアスクール」における成人学習者への取り組みに着目して—
朴 賢淑（岩手大学）

13:50～14:15 地域図書館の学習活動と大学開放
藤田 公仁子（富山大学）

14:15～14:40 持続可能でレジリエントな地域を支える大学教育とは
二ノ宮リム さち（東海大学）

（討議 14:40～15:00）

司 会 新 藤 浩 伸 (東京大学)

10:00～10:25 移動公民館車の史的検討

—移動する図書館活動の実証的考察を視野に—

石川 敬史 (十文字学園女子大学)

10:25～10:50 「ハンセン病博物館」の歴史的展開と教育活動の特質

君塚 仁彦 (東京学芸大学)

10:50～11:15 日本における平和博物館の性格をめぐる類型化の試み

井上 力省 (京都府立大学大学院)

11:15～11:40 商業・教育専門局における社会教育番組

木下 浩一 (京都大学大学院)

(討議 11:40～12:00)

司 会 阿知良 洋 平 (室蘭工業大学)

13:00～13:25 蔡元培の「美育」理論と中国近代における美術館の展開

詹 瞻 (東京大学大学院)

13:25～13:50 英国における高齢者対応博物館教育活動の展開

瀧端 真理子 (追手門学院大学)

13:50～14:15 野外歴史博物館の活用による認知症高齢者の記憶想起を促す試み

—デンマークとスウェーデンにおける博物館の教育事業より—

鈴木 尚子 (徳島大学)

14:15～14:40 公共ホール整備過程への地域住民の関わり

堀本 暁洋 (東京大学大学院)

(討議 14:40～15:00)

司 会 田 中 雅 文（日本女子大学）

10:00～10:25 国際博覧会における市民セクターの役割
—アスタナ国際博覧会の事例より—

松田 剛史（北海道大学大学院）

10:25～10:50 市民の司法参加をめぐる学習
—裁判員裁判に関する市民活動に注目して—

種村 文孝（京都大学）

10:50～11:30 地域学校経営と住民参加の授業
—大人と子どもが共に学ぶ—

○植村 秀人（南九州大学）、○神田 嘉延（鹿児島大学名誉教授）

（討議 11:30～11:50）

司 会 生 田 周 二（奈良教育大学）

13:00～13:25 スポーツ少年団活動における生涯学習とスポーツ活動の意義
坂本 百代（北翔大学大学院）

13:25～13:50 設立者の語りにみる「フリースクール」の流動性
—日常的実践の視座から—

橋本 あかね（大阪府立大学大学院）

13:50～14:15 地域社会における若者支援活動の生成

○松本 大（弘前大学）、○廣森 直子（青森県立保健大学）、
小林 建一（秋田県立大学・非常勤）

14:15～14:40 民間ユネスコ運動における青年の学び
—ユネスコ青年全国大会参加者の語りの分析を中心に—
安達 仁美（信州大学）

（討議 14:40～15:00）

司 会 梶 野 光 信（東京都教育庁）

10:00～10:25 社会教育主事講習に対する「9単位社会教育主事」の意識に関する考察（その2）

浅野 秀重（金沢大学）

10:25～10:50 都市における公民館活動の現状と課題

—西宮市公民館推進員活動を事例として—

佐藤 智子（東北大学）

10:50～11:30 韓国住民自治センターをめぐる動向と住民の学習（その3）

○長澤 成次（千葉大学名誉教授）、

○浅野 かおる（福島大学）

（討議 11:30～11:50）

司 会 倉 持 伸 江（東京学芸大学）

13:00～13:25 学校参加枠組みの展開契機としてのサイレント・マジョリティの学校参加論

大野 公寛（東京大学大学院）

13:25～13:50 高等学校と地域の連携・協働に関する考察

—高等学校にとっての地域とは—

渋谷 かさね（静岡大学）

13:50～14:15 地域コミュニティの運営を支える住民の地域意識

—ふるさと教育を通じた地域人材育成—

皆瀬 勇太（金沢大学大学院）

14:15～14:40 地元学・エコミュージアム活動を通じた住民の学習

蜂屋 大八（金沢大学地域連携推進センター）

（討議 14:40～15:00）

司会 田所 祐史（京都府立大学）

10:00～10:25 東京都における学童保育「公立化」運動の展開

佐藤 晃子（精華女子短期大学）

10:25～10:50 地域と学校との連携・協働を通じた社会関係資本の再構築の過程
—大分県佐伯市を事例として—

荻野 亮吾（東京大学）

10:50～11:15 生活困難に直面する子育て家庭の生活意識構造

相戸 晴子（宮崎国際大学）

11:15～11:40 「こども食堂」への社会教育的関与の一考察

岩松 真紀（明治大学・非常勤）

（討議 11:40～12:00）

司会 岩槻 知也（京都女子大学）

13:00～13:40 教室「空白」地域における日本語学習支援体制づくりに向けたアクションリサーチ

○棚田 洋平（一般社団法人部落解放・人権研究所）、

○新矢 麻紀子（大阪産業大学）

13:40～14:05 移住者に対する課題提起型第二言語識字教材の米韓比較
—隠れたカリキュラムを超えて—

藤田 美佳（奈良教育大学）

14:05～14:30 地域日本語教育と社会教育が織り成す「公共の場」

—小さな市民活動から創る多文化共生—

福村 真紀子（早稲田大学大学院）

（討議 14:30～14:50）

司 会 高 雄 綾 子（フェリス女学院大学）

10:00～10:25 移住した若者の地域住民との交流とアイデンティティの形成

内田 弘（北海道大学大学院）

10:25～10:50 部落差別の現代的位相を問う

—各地の人権意識調査の結果にみる市民の部落問題認識・意識の変化

阿久澤 麻理子（大阪市立大学）

10:50～11:15 多文化共生型地域の創生をめざして

—高大連携と地域連携のあり方を模索して—

生駒 佳也（徳島市立高校）

11:15～11:40 地域文化をめぐる住民と留学生の学び合いのプロセス

本間 淳子（北海道大学・専門研究員）

（討議 11:40～12:00）

司 会 降 旗 信 一（東京農工大学）

13:00～13:25 ケイパビリティ論のもつ開発教育的意味の一考察

青沼 由衣（早稲田大学大学院）

13:25～14:05 開発教育の地域のコーディネーター支援に関する研究

○近藤 牧子（早稲田大学・非常勤）、

○上條 直美（上智大学グローバル・コンサーン研究所）

14:05～14:30 ラムサール条約による「CEPA（交流・教育・普及啓発等）」概念の意義

—兵庫県豊岡市「円山川下流域・周辺水田」の事例を中心に

田開 寛太郎（東京農工大学大学院）

（討議 14:30～14:50）

司 会 朝 岡 幸 彦（東京農工大学）

10:00～10:25 ハワイ先住民の知恵を体感する学び

—ハワイ島プナ地区リトリート施設のプログラム内容考察を通して

孫 美幸（大阪大学）

10:25～10:50 地域づくりにおけるESDの探究

齊藤 雅洋（高知大学）

10:50～11:15 ESD実践主体の形成プロセスと事業形態との関連に関する研究

—プラットフォーム化との相関に着目して—

○清野 未恵子（神戸大学）、松岡 広路（神戸大学）

（討議 11:15～11:25）

研究倫理研修会

15:15～16:45 全学講義棟1号館2階1-206講義室

テーマ 「教育実践をフィールドとした倫理問題」

報 告 添田 祥史（福岡大学）

稲邑 恭子（（有）フェミックス代表）

総 会

17:00～18:30 全学講義棟1号館3階1-301講義室

懇 親 会

18:45～20:45 埼玉大学生活協同組合第二食堂1階

会場校企画

『9条俳句事件』が問いかけること <現代日本社会と社会教育研究>を考えるために」

9:30~12:00 全学講義棟1号館3階1-301講義室

趣旨説明 安藤 聡彦(埼玉大学)

報告 ① 小林 トシ子(三橋俳句会)

② 砂村 康子(三橋俳句会)

③ 柿堺 一二三(元さいたま市公運審委員)

④ 江野本 啓子(「九条俳句」市民応援団事務局長)

⑤ 富塚 一資(富士見市水谷公民館長)

コメンテーター 上野 景三(佐賀大学)、山田 正行(大阪教育大学)、上原 直人(名古屋工業大学)

まとめ 佐藤 一子(東京大学名誉教授)

ラウンドテーブル

13:00~15:30 全学講義棟1号館

ラウンドテーブル①

2階1-202講義室

テーマ 「子ども支援における「社会教育的支援」の実践と課題(2)

—学会年報を踏まえ、地域での子育てを考える—

コーディネーター 生田 周二(奈良教育大学)、小木 美代子(日本福祉大学名誉教授)

報告 小木 美代子(日本福祉大学名誉教授)、立石 美佐子(特定非営利活動法人 北摂こども文化協会)

コメンテーター 増山 均(早稲田大学)

ラウンドテーブル②

2階1-203講義室

テーマ 「躍動する韓国の社会教育・生涯学習をどう見るか」

コーディネーター 李 正連(東京大学)、

小田切 督剛(東京・沖縄・東アジア社会教育研究会<TOAFAEC>副代表)

報告 石井山 竜平(東北大学)、内田 純一(高知大学)、上田 孝典(筑波大学)

ラウンドテーブル③**2階1－204講義室**

テーマ 「自由大学から学ぶこと―自由大学運動100周年に向けて―」

コーディネーター 古市 将樹（常葉大学）

報告 大槻 宏樹（早稲田大学名誉教授）、古市 将樹（常葉大学）

ラウンドテーブル④**3階1－302講義室**

テーマ 「学び合うコミュニティを支えるコーディネーターの力量形成とその組織

―社会教育職員／学習支援者養成・研修・カリキュラムの検討―

コーディネーター 平川 景子（明治大学）、村田 晶子（早稲田大学）

報告 内田 和浩（北海学園大学）、倉持 伸江（東京学芸大学）

ラウンドテーブル⑤**2階1－201講義室**

テーマ 「日本社会教育学会のより実りあるプロジェクト研究の実施に向けて

―旧年度研究担当理事からの提案と意見交換―

コーディネーター 梶野 光信（東京都教育庁）、朝岡 幸彦（東京農工大学）、渡邊 洋子（新潟大学）

司会 朝岡 幸彦（東京農工大学）

趣旨説明 梶野 光信（東京都教育庁）

提案 渡邊 洋子（新潟大学）

ラウンドテーブル⑥**3階1－303講義室**

テーマ 「日本社会における基礎教育保障を考える：日本語教室、識字学級、夜間中学校における活動から」

コーディネーター 長岡 智寿子（日本女子大学 学術研究員）

報告 新矢 麻紀子（大阪産業大学）、棚田 洋平（一般財団法人 部落解放・人権研究所）、
見城 慶和（元夜間中学校教員）、関本 保孝（元夜間中学校教員）

ラウンドテーブル⑦**3階1－304講義室**

テーマ 「子どもに関わる大人の学び―「家庭教育法案」の動向と親の自己の「多元化」―

コーディネーター 河野 和枝（北星学園大学）、井上 大樹（札幌学院大学）、大坂 祐二（名古屋
市立大学）、榎 ひとみ（函館短期大学）

報告 河野 和枝（北星学園大学）、井上 大樹（札幌学院大学）

ラウンドテーブル⑧**3階1－305講義室**

テーマ 「SDGs（持続可能な開発目標）と社会教育（3）」

コーディネーター 田中 治彦（上智大学）、近藤 牧子（早稲田大学・非）

報告 林 美帆・栗本 知子（公益財団法人 公害地域再生センター）、湯本 浩之（宇都宮大学）

ラウンドテーブル⑨

4階1－401講義室

テーマ 「労働の主体性を考える その7：調査報告とふりかえり」

コーディネーター 廣森 直子（青森県立保健大学）

報告 野依 智子（福岡女子大学）、朴木 佳緒留（京都教育大学）

ラウンドテーブル⑩

4階1－402講義室

テーマ 「研究の記録管理と資料保存」

コーディネーター 瀧端 真理子（追手門学院大学）

報告 平野 泉（立教大学共生社会研究センター）、谷合 佳代子（大阪産業労働資料館）

ラウンドテーブル⑪

4階1－403講義室

テーマ 「これからの社会教育・生涯学習 公民館活動の現状」

コーディネーター 西尾 征樹（岸和田市立公民館長）

報告（予定） 椎名 弘樹（大阪狭山市秘書課・大阪狭山市で指定管理者制度を行う）、
続木 謙至（茨木市立中央公民館長）、西村 吉弘（阪南市立東鳥取公民館長）

新刊案内

社会教育・生涯学習ハンドブック 第9版

社会教育推進全国協議会 [編] 編集委員会 姉崎 洋一 (北海道大学名誉教授)、石井山 竜平 (東北大学准教授)
小林 繁 (明治大学教授)、長澤 成次 (千葉大学名誉教授)

2017年9月刊行 (予定) A5判・800頁 (予定) 本体 4,500円+税 (予価)

第8版刊行から6年が経過。朴槿恵大統領をめぐる政治の混乱、トランプ新大統領の動きなど、予測不能な事態が起こる不透明な時代。また、九条俳句の問題や社会教育主事講習の見直し等、変貌する日本の社会教育・生涯学習の状況をどうみるのか。第9版では上記の視点を含め、3.11東日本大震災以降の社会教育・生涯学習の反省、転換、自己革新の実践に着目。各編において多数の資料を掲載し、現在の社会教育・生涯学習を振り返る。

- 第1編 貧困と格差の顕在化した社会に新たな希望をつむぐ社会教育・生涯学習の創造の課題
- 第2編 社会教育・生涯学習の関連法令と国際文書・条約
- 第3編 理念・思想・行財政
- 第4編 学びを支える施設と社会教育関係職員
公民館、図書館、博物館、文化施設、スポーツ施設、児童館・学童保育、フリースクール・夜間中学、社会教育施設再編と新たな動向、人の学びを支える専門職の再構築
- 第5編 学びの主体
子ども、子育てネットワークと親育ち、若者 (青年)、女性、高齢者、生産者、労働者の学習、外国人、性的マイノリティ (LGBT)、障害をもつ人々、社会的に排除された人々、NPO・ボランティア・社会的企業
- 第6編 現代の社会教育の課題
学校・地域連携、ネット空間・IT世界とメディアリテラシー、大学と地域をむすぶ学び、学級講座をつくる、自己表現・文化をつくる学び、職業能力開発・職業訓練、地域福祉と健康学習、環境学習とESD、平和学習、防災教育、東日本大震災と地域学習、地域・自治体づくり・社会教育福祉
- 第7編 年表

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-9
TEL. 03-3234-4644 FAX. 03-3234-4644 <http://www.eidell.co.jp>

新刊案内

躍動する韓国の社会教育・生涯学習

市民・地域・学び

ヤン ビョンチャン イ ジョンヨン キム ユンジョン
梁 炳賛・李 正連・小田切督剛・金 侖貞 [編著]

編集委員 李 正連、呉 世蓮、小田切督剛、郭 珍榮、姜 乃榮、金 宝藍、
金 侖貞、小林文人、瀬川理恵、松尾有美 梁 炳賛

2017年6月刊行 A5判・506頁
定価 4,320円 (本体 4,000円+税)

韓国の市民の躍動を支える社会教育・生涯学習の実践と政策を、「市民学び・地域」を切り口に描き出す。
金大中・盧武鉉のリベラル政権10年と、李明博・朴槿恵の保守政権10年の動き、今後の展望を示す。
日韓の研究者・実務家30人余りが結集し、5年の歳月をかけてまとめた決定版。

Contents

- 序章 韓国の社会教育・平生教育をどう理解するか—市民・地域・学びに注目して
- 第1章 市民社会を育む学習共同体
- 第2章 格差社会を乗り越える平生学習
- 第3章 働く希望を創る平生学習
- 第4章 平生学習の多面的展開—すべての人々に教育を
- 第5章 未来を開く平生学習政策
- 第6章 今、韓国の平生学習の躍動を語る (座談会)
政治・行政—研究—実践—運動のダイナミズム
- 特論 韓国・平生教育の“躍動”が示唆するもの—平生教育・立法運動に関連して
- 終章 日本と韓国の社会教育・平生教育はどう学びあうか
- 特別編 韓国の平生学習の歩みが紡ぎ出す10の宣言・条例
- 資料編 平生教育法 (2007年全部改正) / 年表 / 統計 / 基本的な用語と訳語



エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-9
TEL. 03-3234-4644 FAX. 03-3234-4644 <http://www.eidell.co.jp>

講座 転形期の社会教育 シリーズ

- I 社会教育の基礎** 一転形期の社会教育を考える
●松岡廣路・鈴木真理・松橋義樹 編著 定価2700円
- II 社会教育の連携論** 一社会教育の固有性と連携を考える
●鈴木真理・伊藤真木子・本庄陽子 編著 定価2484円
- III 社会教育の施設論** 一社会教育の空間的展開を考える
●鈴木真理・井上伸良・大木真徳 編著 定価2484円
- IV 社会教育の学習論** 一社会教育がめざす人間像を考える
●鈴木真理・青山鉄兵・内山淳子 編著 定価2484円
- V 社会教育の公共性論** 一社会教育の制度設計と評価を考える
●鈴木真理・稲葉隆・藤原文雄 編著 定価2484円
- VI 社会教育・生涯学習研究のすすめ** 一社会教育の研究を考える
●津田英二・久井英輔・鈴木真理 編著 定価2700円

未来を拓く子どもの社会教育

●上杉孝實・小木美代子監修/立柳聡・姥貝荘一編著 定価3240円

教育老年学と高齢者学習

●堀薫夫編著 定価3024円

社会教育<教師教育テキストシリーズ 6>

●長澤成次編 定価1944円

SDGsと開発教育 一持続可能な開発目標のための学び

●田中治彦・三宅隆史・湯本浩之 編著 定価3240円

「ESDでひらく未来」シリーズ

持続可能な地域と学校のための
学習社会文化論

●降旗信一 編著 定価2052円

女性・人権・生きること 一過去を知り 未来をひらく

●天童睦子 著 定価1080円

子どもの放課後にかかわる人の

Q&A50 一子どもの力になるプレイワーク実践(遊ぶ・暮らす)

●プレイワーク研究会 編 定価1728円

早稲田教育ブックレット 13

LGBT問題と教育現場 一いま、わたしたちにできること

●早稲田大学教育総合研究所 監修 定価972円

学校学力から生涯学力へ 一変化する時代を生きる

●前田耕司・佐藤千津編著 定価1836円

講座 現代学校教育の高度化 6

生涯学習と学習社会の創造

●佐藤晴雄・望月厚志・柴田彩千子著 定価2268円

ボランティア活動をデザインする

●田中雅文・廣瀬隆人編著 定価2160円

テキスト生涯学習 【新訂版】

一学びがつむぐ新しい社会
●田中雅文・坂口緑・柴田彩千子・宮地孝宜 著 定価1836円

〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
http://www.gakubunsha.com

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

最新刊

放送大学に学んで 一未来を拓く学びの軌跡
放送大学中国・四国ブロック学習センター編著 四六・並製三二二頁二〇〇〇円

最新刊

現代アメリカのガン・ポリテイクス
鵜浦裕著 四六・並製二五六頁二〇〇〇円

最新刊

暴走するアメリカ大学スポーツの経済学
宮田由紀夫著 四六・上製二九六頁二六〇〇円

最新刊

アセアン共同体の市民性教育
平田利文編著 A5・上製三三五頁三七〇〇円

最新刊

現代アメリカのガン・ポリテイクス
四六・並製二五六頁二〇〇〇円

最新刊

タイの人権教育政策の理論と実践
馬場智子著 A5・上製二〇〇頁二八〇〇円

最新刊

アセアン共同体の市民性教育
平田利文編著 A5・上製三三五頁三七〇〇円

最新刊

多様性と向きあうカナダの学校
児玉奈々著 A5・上製二二六頁二八〇〇円

最新刊

英国の教育
日英教育学会編 A5・上製三三八頁三四〇〇円

最新刊

社会科は「不確実性」で活性化
吉永潤著 A5・上製二〇八頁二四〇〇円

最新刊

社会形成力育成カリキュラムの研究
社会科・公民科における小中高一貫の政治学習
西村公孝著 A5・上製五二〇頁六五〇〇円

最新刊

社会を創る市民の教育
協働によるシテイズン
大友秀明・桐谷正信編 A5・並製二七二頁二五〇〇円

最新刊

資源問題の正義
コンゴの紛争資源問題と消費者の責任
華井和代著 A5・上製三八四頁三九〇〇円

最新刊

コミュニケーションワークの教育的実践
高橋満著 A5・並製二二六頁二〇〇〇円

最新刊

成人教育の社会学
パワー・アート・ライフコース
高橋満編著 A5・上製三四四頁三三〇〇円

〒113-0023 東京都文京区向丘1-20-6
http://www.toshindo-pub.com

東信堂

TEL03-3818-5521 FAX03-3818-5514
Email tk203444@fsinet.or.jp [価格税別]

公民館を創る

地域に民主主義を紡ぐ学び

上田幸夫【著】

定価（本体 2,300 円＋税）

A5 判 220 頁

ISBN978-4-337-50629-9

序章 なぜ、公民館なのか

第Ⅰ部 戦後の地域の学びと公民館の成立

戦後改革と公民館の創設／公民館構想と寺中作雄／公民館主事の成立

第Ⅱ部 公民館主事の原理と教育実践

公民館主事の歴史的探究／教育専門職としての公民館主事論／公民館の学びとしての自分史学習

第Ⅲ部 公民館の原理とその思想

地域社会教育の核としての公民館／公民館の学習論の基礎／公民館学習論の理念とその史的展開

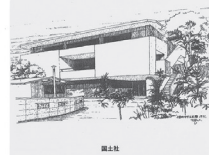
第Ⅳ部 変わりゆく公民館の現在とその課題

今日の公民館の実態／公民館の再編の構図と設置減少の核心／

東日本大震災後の公民館の再構築—分館公民館・自治公民館をもとに、これからの公民館の構想

公民館を創る
地域に民主主義を紡ぐ学び

上田幸夫 著
Yukio Ueda



住民の生きた現実の学びから生まれ蓄積されてきた公民館の理論と実践。民主主義形成に向けて紡がれてきたその戦後のあゆみをたどる—

生涯学習の時代をひらく

月刊 社会教育

『月刊社会教育』編集委員会／編集

毎月15日発売 定価 800円(税込) A5判 72頁

人物でつづる 戦後社会教育

千野陽一／監修

『月刊社会教育』編集委員会／編

定価（本体 2,500 円＋税） A5 判 248 頁 ISBN978-4-337-50628-2



国土社

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-6 TEL03-6272-6125 FAX03-6272-6126 <http://www.kokudosha.co.jp>